

● 部活動の地域移行について

(金ヶ崎)国は令和 5 年度以降、休日の部活動の地域移行の環境整備と実践研究を実施し結果の普及を求めていた。また、地域人材確保・研修・団体の確保・費用のあり方・説明会の開催をする必要性を説いた。本市の動きの遅さと地域や各種団体への周知不足を指摘。早急に学校部活動の地域展開の考え方や見通しを示した「学校部活動のあり方」方針の策定を迫った。そして、先進自治体の動向や検討委員会の意見を伺いながら実効性のある取組を要望。

● 大河ドラマ「光る君へ」終了後の取組について

(金ヶ崎)今後も観光振興・地域活性化で期待。放映後も「ほんまもん」の宇治のまちの魅力を感じて頂く源氏物語への興味関心を深める講座や展示や歴史、文化を体感する事業の実施を確認。若者へは SNS やキービジュアルの活用強化を要望。

● 国宝指定された萬福寺の活用について

(金ヶ崎)萬福寺は昨年、3 棟の建造物が国宝指定された。ランタンフェスタや普茶料理の普及など独自に広報を取り組まれている。今後の黄檗地域、萬福寺において観光も中心にしながらどのようにまちづくりをしていくのか？

(宇治市)市内周遊性の向上を図る。国宝指定された建造物や煎茶文化など萬福寺の魅力向上に特別展示や記念フォーラムを開催予定している。また、誘客に向けて東京駅でのデジタルサイネージの掲出、SNS での発信を強化。黄檗エリアの周遊マップを作成する。様々な仕掛けをし周遊型観光の楽しい街づくりに努める。

(金ヶ崎)平成 12 年を最後に終了した市内小学生による「写生大会」の復活により「宇治学」の座学だけでなく五感で体感し宇治市寺院、史跡の魅力を感じ、宇治に愛着を持つ教育のあり方を自身の御蔵山小在学時代の想いを重ねて大会の復活を強く要望。

● 木幡池の管理と緑地公園整備について

(金ヶ崎)平成 21 年 8 月に国交省認可「かわまちづくり計画」を踏まえ、貴重な水辺の自然環境を保全し、まちづくりと一体となった「河川空間整備」も地域住民と連携、協働し進める必要がある。府の整備計画である市民の憩いの場、ふれあい楽しみの場、若者から高齢者までが体を動かせる場の提供が必要と要望。治水対策である大島排水機場樋門工事が終了する令和 9 年度以降、地域の方々の意見を聞きながら府、関係機関と連携し検討していくと宇治市の考えを確認。

発
行

地元育ちの熱い力！
金ヶ崎秀明後援会
HP アドレス
kyoto-uii.com/kh/



〒611-0002
宇治市木幡御蔵山45-4
0120-635-052
文責・電話窓口：金ヶ崎伶奈（長女）